

米の消費動向調査結果（令和元年8月分）

公益社団法人米穀安定供給確保支援機構（米穀機構）では、米の消費状況を把握するため、全国の消費世帯モニターを対象とした「米の消費動向調査」を毎月行っています。令和元年8月分の調査結果の概要は次のとおりです。

- モニター世帯の平均1人1ヵ月当たり精米消費量は4,223グラム、うち家庭内消費量は2,782グラム、中食・外食の消費量は1,441グラム
- 精米購入・入手経路は「スーパーマーケット」、「家族・知人などから無償で入手」、「インターネットショップ」の順番（前月同）
- 家庭内の月末在庫数量は6.0キログラム

【調査概要】

全国の消費世帯モニターを対象にインターネットを利用して調査した。

家庭内消費量については、調査当月の月初と月末の精米在庫量及び精米購入数量並びに世帯人員から推計、中食・外食の消費量については調査当月の家庭炊飯以外で食べた米飯の数量から推計した。なお各消費量は世帯ごとの推計値を算術平均したもの。

（参考）米の消費動向調査のしくみ <http://www.komenet.jp/pdf/chousa%20method.pdf>

令和元年8月分の有効調査世帯数は1,650世帯であった。

集計に際しては、地域毎に世帯人員構成比が平成27年国勢調査「世帯人員構成比」に沿うよう調整した上で推計した。

米の消費動向調査結果(令和元年8月分)

※地域ごとの世帯人員構成比が、H27国勢調査「世帯人員構成比」に沿うようウェイトバック集計を実施した上で推計(注：H29年度調査からH27国勢調査結果を集計に用いている)

■ 1人1か月当たり精米消費量

<算出方法>

◆「1人1か月当たり家庭内消費量」

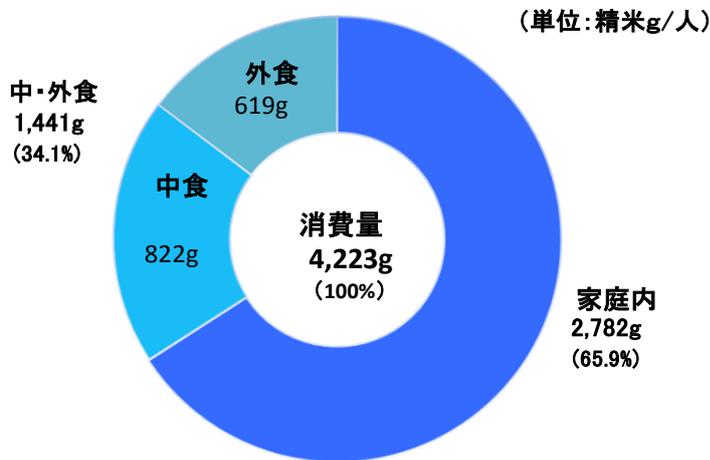
[(月初精米在庫量)+(1か月間購入・入手精米量)-(月末精米在庫量)]÷世帯人員
による1か月分の消費量を30日分へ補正

◆「1人1か月当たり中・外食消費量」

「(普通サイズのお茶碗1杯)=(精米65g)」として7日分の合計消費量から、
1か月分(30日分)の消費量を推計

		消費量			
		n=		比率	
1人1か月当たり		(1650)	4,223	100.0%	
中・外食	家庭内	(1650)	2,782	65.9%	(100.0%)
	中・外食	(1650)	1,441	34.1%	(57.0%)
	中食	(1650)	822	19.5%	(43.0%)
	外食	(1650)	619	14.7%	

(注) 四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある。

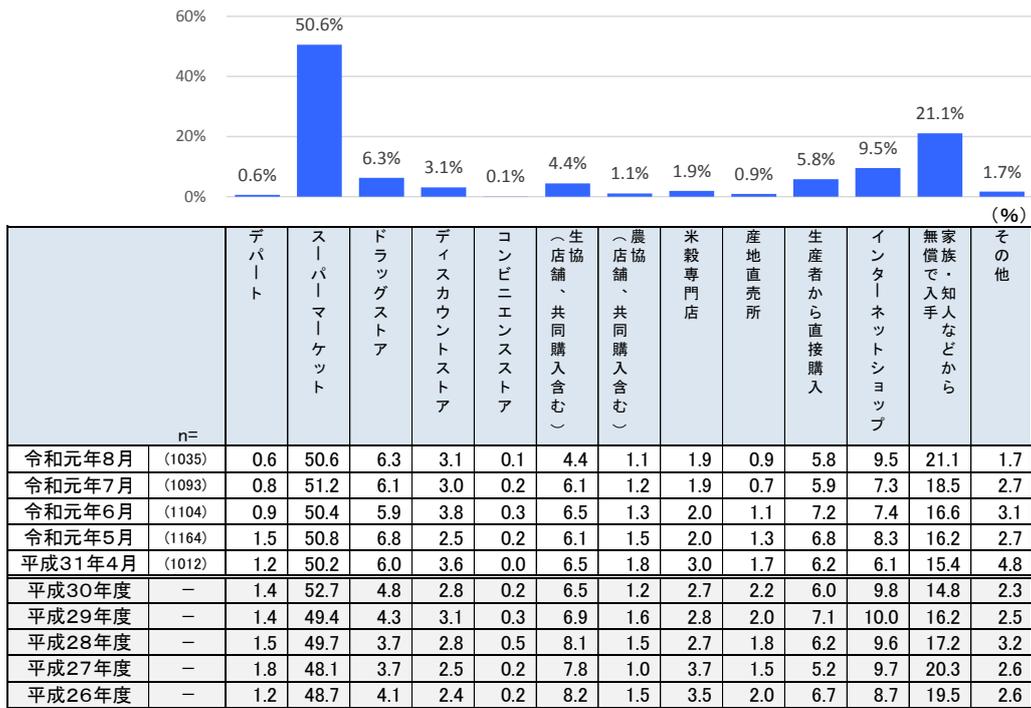


[参考] 1人1か月当たり精米消費量の推移

	1か月当たり消費量			家庭内消費量			中・外食消費量		
	消費量	シェア	対前年同月比	消費量	シェア	対前年同月比	消費量	シェア	対前年同月比
令和元年 8月	4,223	100.0	0.9	2,782	65.9	▲ 4.5	1,441	34.1	13.1
令和元年 7月	4,497	100.0	3.9	3,059	68.0	1.4	1,438	32.0	9.9
令和元年 6月	4,615	100.0	1.1	3,124	67.7	▲ 2.6	1,491	32.3	9.6
令和元年 5月	4,851	100.0	5.6	3,212	66.2	0.6	1,640	33.8	17.1
平成31年 4月	4,923	100.0	1.9	3,233	65.7	▲ 4.4	1,690	34.3	16.9
平成30年度	4,426	100.0	▲ 3.8	3,100	70.0	▲ 5.0	1,326	30.0	▲ 1.1
平成29年度	4,603	100.0	▲ 1.3	3,262	70.9	1.6	1,341	29.1	▲ 7.6
平成28年度	4,663	100.0	6.3	3,212	68.9	6.1	1,451	31.1	6.7
平成27年度	4,386	100.0	▲ 3.7	3,027	69.0	▲ 5.9	1,360	31.0	1.6
平成26年度	4,554	100.0	2.0	3,216	70.6	7.5	1,338	29.4	▲ 9.2

(注) 1. 平成26～30年度は各年4月から翌年3月までの平均値である。
2. 四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある。
3. 前年度と今年度の推移を参考として4ページに掲載している。

■精米購入・入手経路（購入人数割合（複数回答））



(注) 平成26～30年度は各年4月から翌年3月までの平均値である。

■精米購入経路別の購入単価（複数回答）

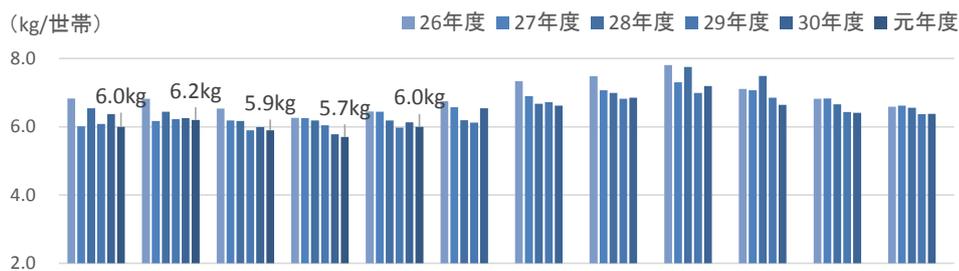


(注)1. デパート、スーパーマーケット、生協は、実店舗の購入単価であり、インターネットを利用した購入は含まない。

2. 購入単価は消費税を除く本体価格である。

3. 表中の*付きの購入単価は、「精米購入・入手経路」の割合が1%に満たないため参考値とする。

■家庭内の月末在庫数量



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年比
元年度	月末在庫数量	6.0	6.2	5.9	5.7	6.0								6.0	▲6.3
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33								2.33	-
30年度	月末在庫数量	6.4	6.3	6.0	5.8	6.1	6.5	6.6	6.9	7.2	6.6	6.4	6.4	6.4	0.0
	平均世帯人員	2.32	2.32	2.32	2.33	2.33	2.33	2.32	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	-
29年度	月末在庫数量	6.1	6.2	5.9	6.0	6.0	6.1	6.7	6.8	7.0	6.9	6.4	6.4	6.4	▲4.5
	平均世帯人員	2.33	2.32	2.33	2.33	2.32	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	-
28年度	月末在庫数量	6.5	6.4	6.2	6.2	6.2	6.2	6.7	7.0	7.7	7.5	6.7	6.6	6.7	1.5
	平均世帯人員	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	-
27年度	月末在庫数量	6.0	6.2	6.2	6.3	6.4	6.6	6.9	7.1	7.3	7.1	6.8	6.6	6.6	▲4.3
	平均世帯人員	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40	2.41	2.41	2.40	2.41	2.41	2.41	2.40	-
26年度	月末在庫数量	6.8	6.8	6.5	6.3	6.5	6.8	7.3	7.5	7.8	7.1	6.8	6.6	6.9	3.0
	平均世帯人員	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	-

- (注) 1. 地域ごとの世帯人員構成比が26～28年度はH22国勢調査、29～元年度はH27国勢調査「世帯人員構成比」に沿うようウェイトバック集計を実施した上で集計した。
 2. 平均世帯人員は、各月の有効調査世帯の平均人員数である。

■ [参考] 1人1ヵ月当たり精米消費量の推移(平成30年4月～令和元年8月)

(単位: 精米g/人、%)

	1ヵ月当たり消費量		家庭内消費量		中・外食消費量	
		対前年 同月比		対前年 同月比		対前年 同月比
平成30年4月	4,829	▲4.0	3,383	▲4.4	1,446	▲2.8
5月	4,594	▲4.5	3,194	▲7.2	1,400	2.3
6月	4,567	▲4.9	3,207	▲5.2	1,360	▲4.2
7月	4,327	▲2.2	3,018	▲2.7	1,309	▲0.9
8月	4,187	▲3.5	2,913	▲4.8	1,274	▲0.5
9月	4,290	▲3.9	3,037	▲3.7	1,253	▲4.4
10月	4,431	▲5.9	3,120	▲6.5	1,311	▲4.4
11月	4,605	▲2.8	3,249	▲3.1	1,356	▲2.2
12月	4,403	▲0.4	3,063	▲1.0	1,340	0.8
31年1月	4,187	▲4.9	2,896	▲8.6	1,291	4.5
2月	4,466	▲4.2	3,183	▲6.0	1,283	0.5
3月	4,225	▲4.6	2,942	▲5.8	1,283	▲1.8
4月	4,923	1.9	3,233	▲4.4	1,690	16.9
令和元年5月	4,851	5.6	3,212	0.6	1,640	17.1
6月	4,615	1.1	3,124	▲2.6	1,491	9.6
7月	4,497	3.9	3,059	1.4	1,438	9.9
8月	4,223	0.9	2,782	▲4.5	1,441	13.1

(注) 四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある。

<次回の公表スケジュール>

調査月		公表予定	
令和元年	9月分	令和元年	10月25日 16時

米穀機構ホームページ「米ネット」(<http://www.komenet.jp/>)にて公表します。

本件に関するお問い合わせ先

〒103-0001

東京都中央区日本橋小伝馬町15-15

公益社団法人 米穀安定供給確保支援機構
情報部 TEL03-4334-2161

担当：藤原 小野塚